

# 取付要領書

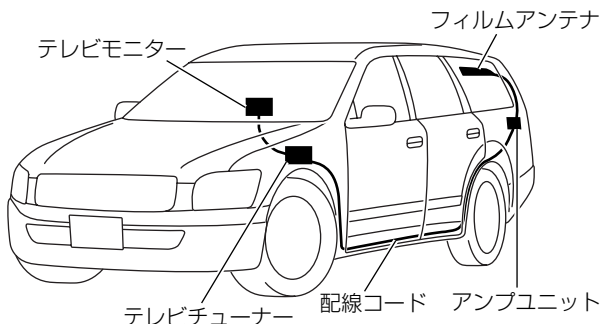
FLA-101G

FLA-102G

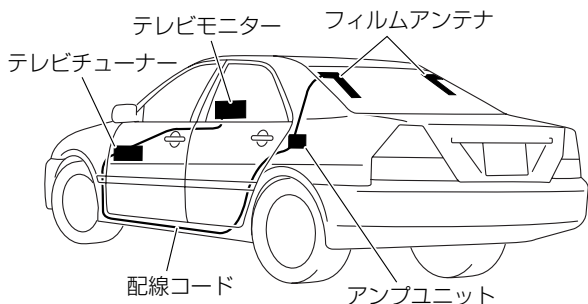
FLA-103G

このたびは、パルウス フィルムアンテナをお買い上げいただき、ありがとうございます。  
取り付けの前に、この取付要領書を必ずお読みください。  
取り付け終了後は、後日お役に立つこともありますので、保管してください。

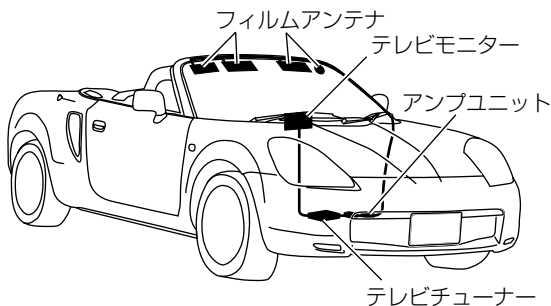
**PALUSE**  
DIVERSITY TV ANTENNA  
FLA-101G



**PALUSE**  
DIVERSITY TV ANTENNA  
FLA-102G



**PALUSE**  
DIVERSITY TV ANTENNA  
FLA-103G



## 安全上のご注意（必ずお読みください）

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに取り扱い上の注意点を記載して次のような意味を示しています。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**禁止**

禁止の行為を示します。

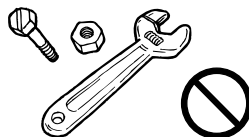
## 警告

### 安全上お守り頂きたいこと

- 万一、煙が出る、変なにおいがする、水がかかったなどの異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

### 取付作業について

- 車体のボルトやナットを使用してアースをするときは、ステアリングやブレーキ系統などの保安部品のボルトやナットは使用しないでください。事故の原因になります。



### コードの配線について

- 取り付けと配線が終わったらブレーキランプやライト、ホーン、ウインカーなどのすべての電装品が元通りに正常に動作することをお確かめください。正常に動作しない場合は、配線などを確認して原因を確かめ適切な処置をしてください。原因が分からないときは、お買い上げ店にご相談ください。原因が分からない状態で使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
- 分解や改造はしないでください。火災や故障、感電などの事故の原因となります。電源リード線の被覆を剥がして、他の機器の電源を取るとリード線の電流容量を超えてしまいます。
- 内装部品の取り外しがわからない場合は、必ず事前にカーディーラーへ確認してから作業してください。



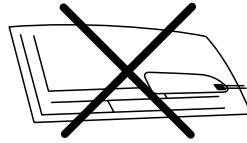
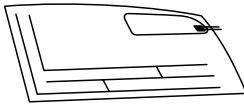
## ⚠ 注意

### 安全上お守りいただきたいこと

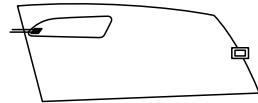
- テレビを見る時は、安全な場所に停車してご覧ください。
- 本製品は、可動するガラスには取り付けできません。可動するガラスに取り付けした場合、性能を発揮できない恐れがあります。
- スモークフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナを剥がした際にスモークフィルムを傷める場合がありますのでご注意ください。

### 【FLA-101G】

- 本製品はクォーターガラス専用です。
- クォーターガラスに純正のラジオのパターンがある場合はフィルムを重ねて貼らないようにします。

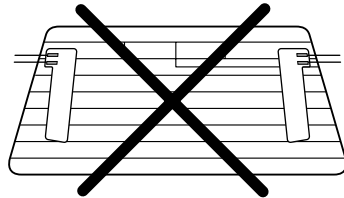
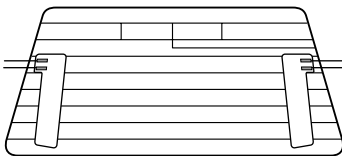


- ガラスがチルトする時は、コネクターのコードを前にして貼ってください。(フィルムが左右逆、上下逆になってもかまいません。)



### 【FLA-102G】

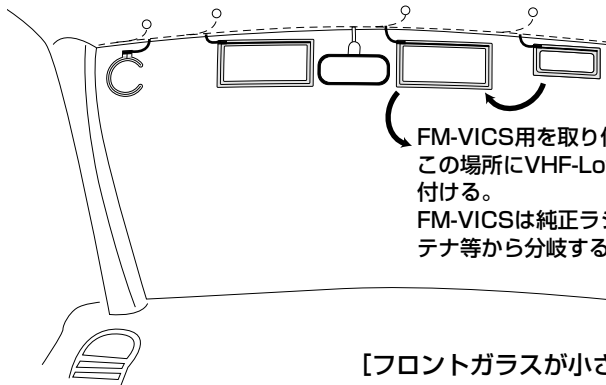
- 本製品はリアウインドーガラス専用です。
- リアウインドーガラスに純正のラジオのアンテナがある場合はフィルムを重ねて貼らないようにします。



デッドフォアガーの熱線にだけかかるように必ず縦にフィルムを貼ってください。

### 【FLA-103G】

- 本製品はフロントガラスの保安基準に適合しておりますが、フロントガラスの小さな軽自動車や一部の特殊車両に取り付ける際には、視界の確保を最優先にして、右のように取り付けてください。



FM-VICS用を取り付けずにこの場所にVHF-Lowを貼り付ける。  
FM-VICSは純正ラジオアンテナ等から分岐する。

【フロントガラスが小さな場合】

## 取付作業について

- ショート事故防止のために車の電源をoffにした状態で、バッテリーマイナス側のケーブルを外してから作業してください。取り付け、配線の作業が終わったあと、配線などの作業に誤りがないかお確かめの上、取り外した車両の部品を元通りに取り付け、最後にバッテリーのマイナス側のケーブルをもと通りにつないでください。
- 一部車種の熱線吸収ガラスや、メタリックフィルム等の特殊加工をほどこしたガラスへの貼り付けは、性能を十分に発揮できない場合があります。



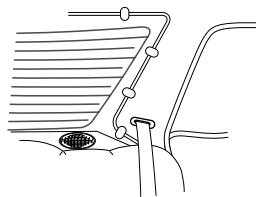
## コードの配線について

- 必ず本取付要領書の指定通りに配線してください。指示通り配線しないと火災や感電、故障の原因となることがあります。
- 車両部分のバリ（部品加工時にできる鋭利な小さな突起）や鋭利な場所にコードが接触する場合はコードの被膜を傷めないように必ず粘着テープ等で保護してください。火災や感電、故障の原因となることがあります。

# お願い

## 取付作業について

- 本機の取り付けには専門知識が必要です。ご自分で取り付けるときは、本書の説明に従って正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や故障の原因となります。
- 必ず、付属の部品を本取付要領書の指示通りにご使用になり、しっかりと固定してください。指示以外のものをご使用になると、ゆるんで外れたりする危険性があります。
- 車両に穴をあけるなどの加工が必要な場合は、最寄りの専門店にてご相談ください。



## コードの配線について

- コード類はクランプや粘着テープなどでしっかりと固定してください。
- 運転操作を妨げる場所や、同乗者に危険を及ぼす場所には、コードを通さないでください。事故やけがの原因となることがあります。

## 使用工具



ドライバー  
⊕, ⊖  
プラスチック  
スクレイパー

霧吹き

ドライヤー 柔らかい布

ガラス  
クリーナー

プライヤー

中性洗剤

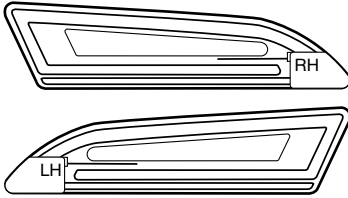
電気ドリル

ドリルの歯  
(φ3mm)

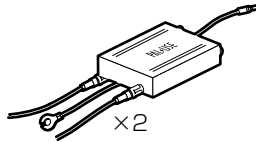
# 構成部品

## FLA-101G

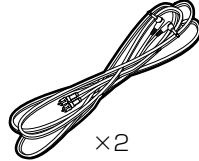
●フィルムアンテナ



●アンプユニット



●アンテナ出力コード



●コネクター

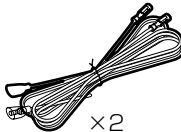


×4

●エレタップ



●電源コード



×2

●タッピングネジ



×4

●取付要領書

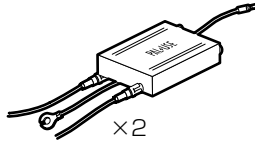


## FLA-102G

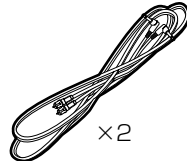
●フィルムアンテナ



●アンプユニット



●アンテナ出力コード



●コネクター

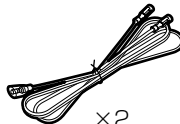


×4

●エレタップ



●電源コード



×2

●タッピングネジ



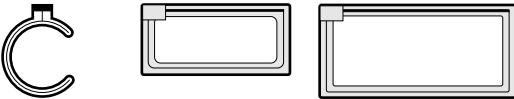
×4

●取付要領書



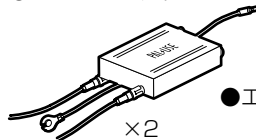
## FLA-103G

●フィルムアンテナ



×2

●アンプユニット

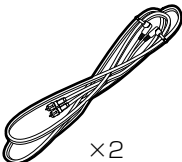


×2

●エレタップ



●アンテナ出力コード



×2

●電源コード



×2

●コネクター



×4

●タッピングネジ



×4

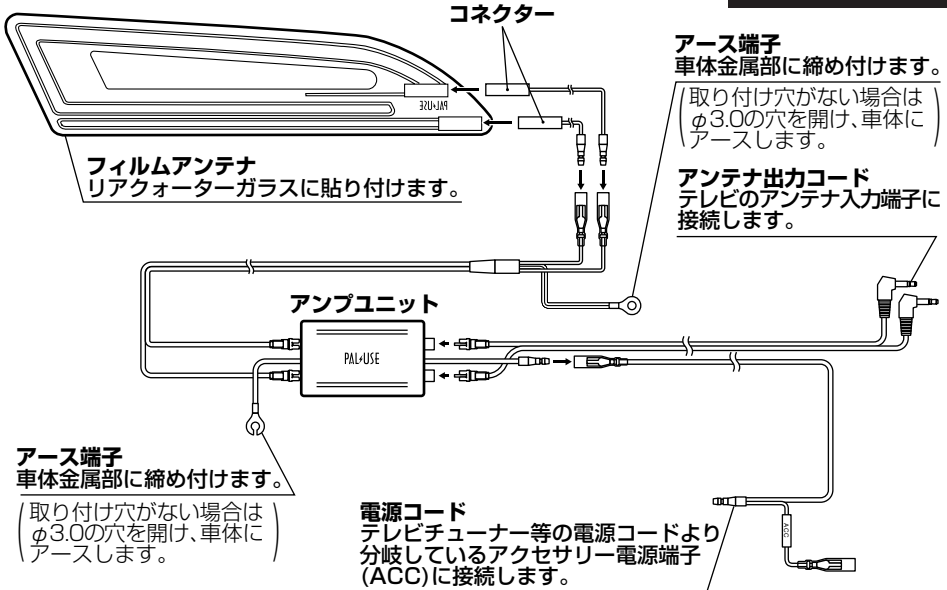
●取付要領書



# 接続要領

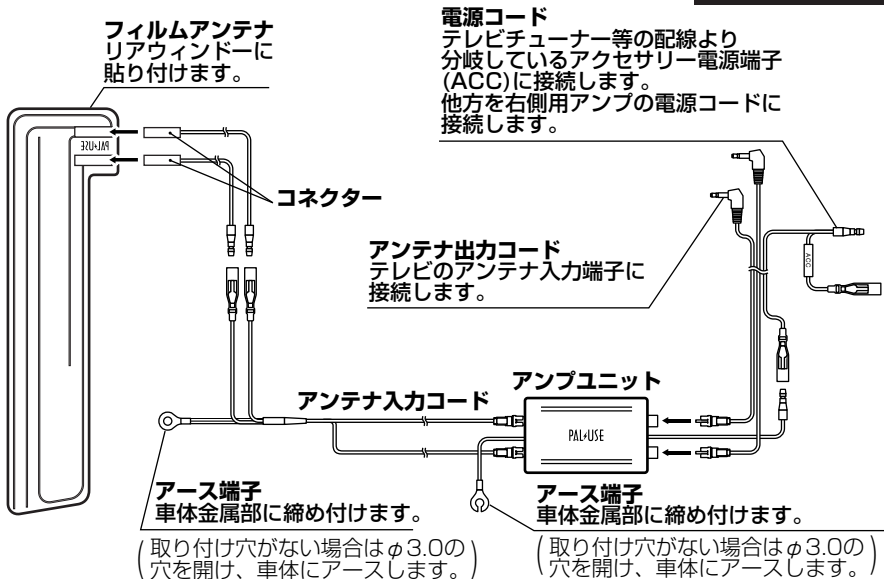
※室内から見た右側図（左側も同様に行います。）

FLA-101G



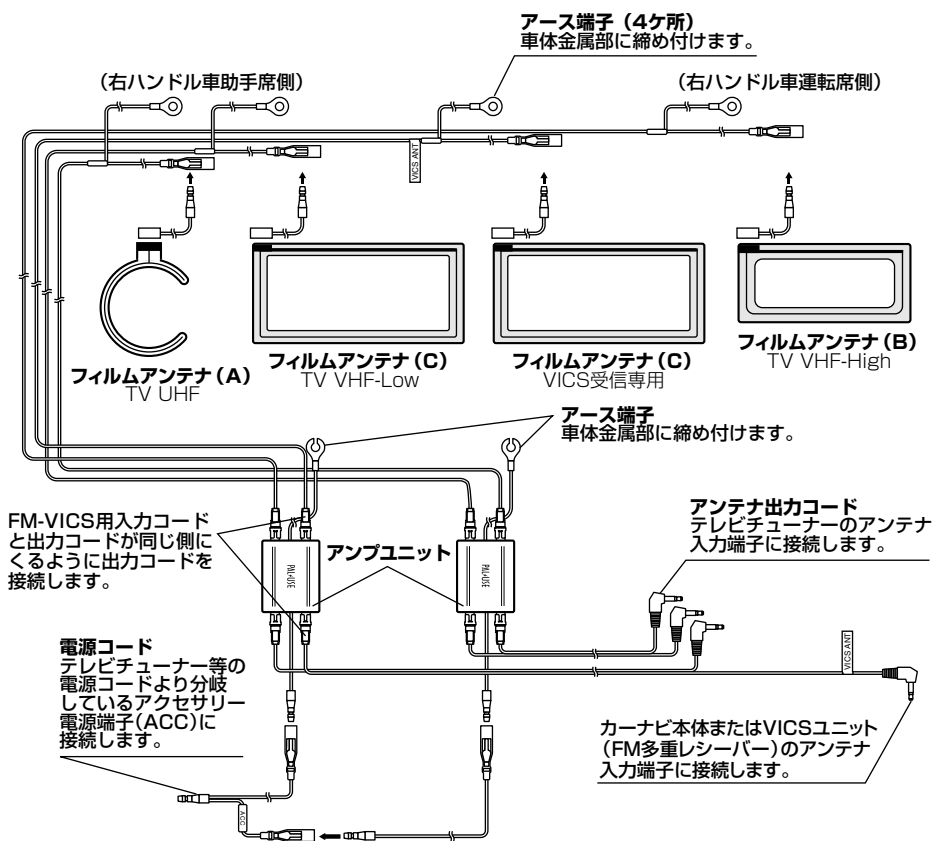
※室内から見た左側図（右側も同様に行います。）

FLA-102G



※室内から見た図（図は配線を左ピラーに通す例です。）

FLA-103G



## 取付要領

FLA-101G → P. 8

FLA-102G → P.10

FLA-103G → P.12

# 1

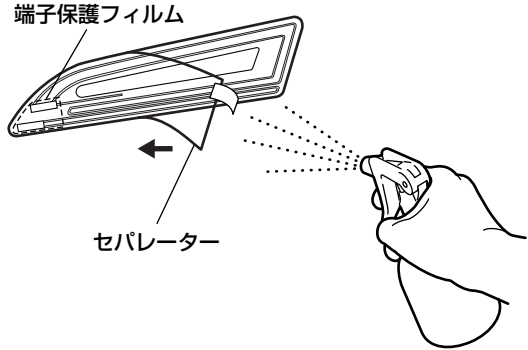
内装部品を取り外します。

- リアピラートリムを取り外してください。

# 2

フィルムアンテナのセパレーターを剥がし、薄めた中性洗剤（濃度1～2%）をスプレーします。

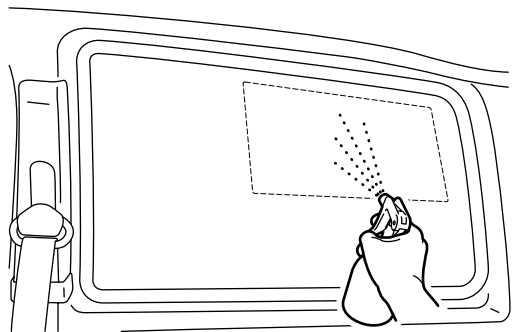
- フィルムアンテナのセパレーターを剥がし、薄めた中性洗剤をスプレーしてください。



# 3

リアクォーターガラスの貼り付け面に薄めた中性洗剤（濃度1～2%）をスプレーします。

- スプレー前にガラス面を完全に洗浄してください。（油膜が残っていると気泡発生の原因となります。）
- 車内の内装に水や洗剤がかからないよう、カバーしながら作業を行ってください。

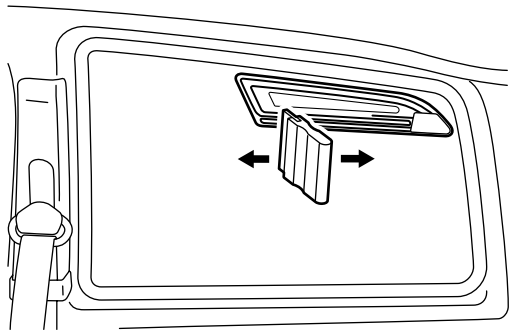


# 4

リアクォーターガラスにフィルムアンテナを貼り付けます。

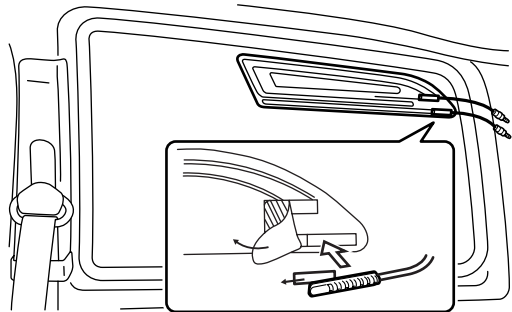
- 貼り付け作業を開始する前に、貼り付け位置を十分確認してください。フィルム本体は貼り付け後乾燥すると剥がすことが困難となります。
- フィルムアンテナの左右（表裏）を確認し、取り付けてください。

- 貼り付け時はスキージを使用し、フィルムアンテナとガラスの間に気泡が残らないように注意してください。但し、貼り付け後しばらくたってから、稀に気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は、数日で消えます。
- 水分は、貼り付け後に柔らかい布で拭き取ってください。(強く拭き取るとフィルム位置がずれるため、注意してください。)



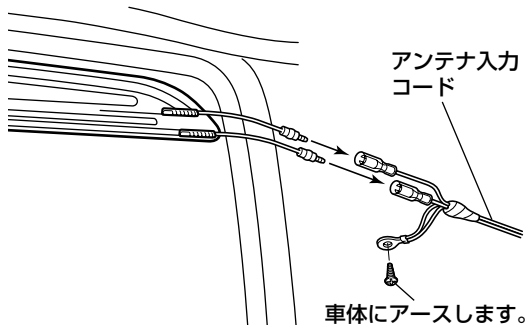
## 5 フィルムアンテナの端子部にコネクタを貼り付けます。

- フィルムアンテナの端子保護フィルムを剥がしてください。
- コネクタからセパレーターを剥がして貼り付けます。
- 端子貼り付け部分は剥がれやすいので、十分に乾燥させてからコネクタを取り付けてください。また、一度剥がしたコネクタは再使用することができませんので注意してください。



## 6 入力コードにコネクタを接続します。

- 車体にφ3.0の穴をあけ、アース端子を車体にアースしてください。(ネジは、付属のタッピングスクルーを使用してください。)
- アースコードは延長せず車体に取り付けてください。**延長した場合、性能が著しく低下する恐れがあります。**
- アースが取れていることをテスター等で確認してください。
- ドリル等で車体に穴をあける場合は、必ず袋構造部にあけ、車体外板に穴をあけないよう十分注意してください。



# 1

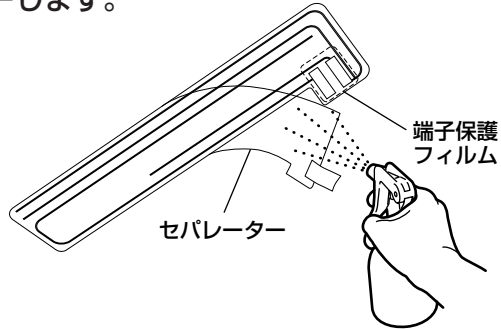
内装部品を取り外します。

- リアピラートリムを取り外してください。

# 2

フィルムアンテナのセパレーターを剥がし、薄めた中性洗剤（濃度1～2%）をスプレーします。

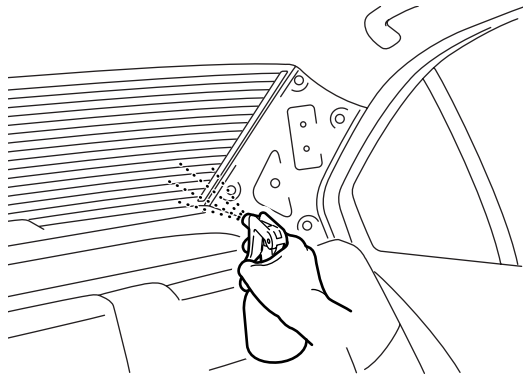
- フィルムアンテナのセパレーターを剥がし、薄めた中性洗剤をスプレーしてください。



# 3

リアガラスの貼り付け面に薄めた中性洗剤（濃度1～2%）をスプレーします。

- スプレー前にガラス面を完全に洗浄してください。（油膜が残っていると気泡発生の原因となります。）
- 車内の内装に水や洗剤がかからないよう、カバーしながら作業を行ってください。

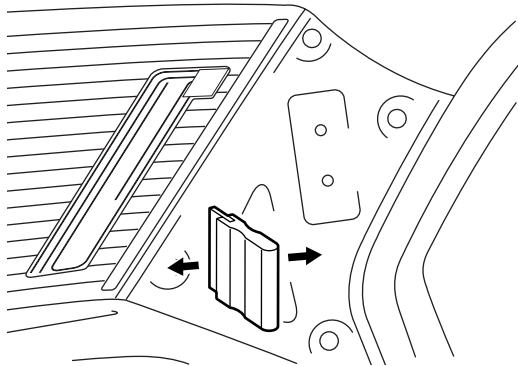


# 4

リアガラスにフィルムアンテナを貼り付けます。

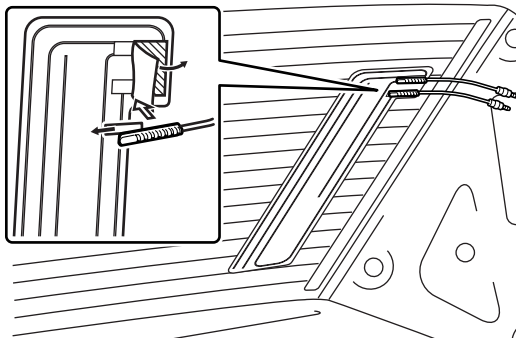
- 貼り付け作業を開始する前に、貼り付け位置を十分確認してください。フィルム本体は貼り付け後乾燥すると剥がすことが困難となります。
- フィルムアンテナの左右を確認し、取り付けてください。
- フィルムアンテナと熱線が垂直になるように貼り付けてください。

- 貼り付け時はスキージを使用し、フィルムアンテナとガラスの間に気泡が残らないように注意してください。但し、貼り付け後しばらくたってから、稀に気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は、数日で消えます。
- 水分は、貼り付け後に柔らかい布で拭き取ってください。(強く拭き取るとフィルム位置がずれるため、注意してください。)



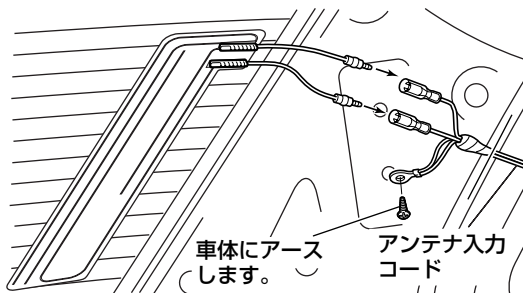
## 5 フィルムアンテナの端子部にコネクタを貼り付けます。

- フィルムアンテナの端子保護フィルムを剥がしてください。
- コネクタからセパレーターを剥がして貼り付けます。
- 端子貼り付け部分は剥がれやすいので、十分に乾燥させてからコネクタを取り付けてください。また、一度剥がしたコネクタは再使用することができませんので注意してください。



## 6 入力コードにコネクタを接続します。

- 車体にφ3.0の穴をあけ、アース端子を車体にアースしてください。(ネジは、付属のタッピングスクリューを使用してください。)
- アースコードは延長せず車体に取り付けてください。延長した場合、性能が著しく低下する恐れがあります。
- アースが取れていることをテスター等で確認してください。
- ドリル等で車体に穴をあける場合は、必ず袋構造部にあけ、車体外板に穴をあけないよう十分注意してください。

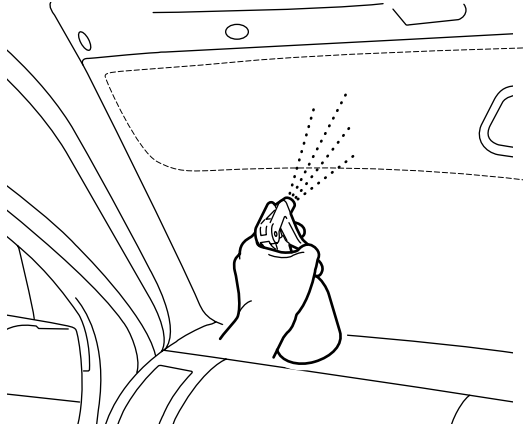


# 1 内装部品を取り外します。

- Aピラー、ルーライニングを取り外してください。

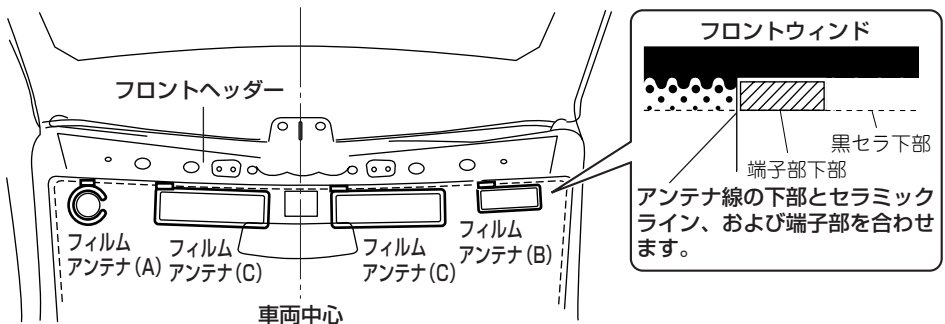
# 2 フロントガラスのフィルムアンテナ貼り付け面に薄めた中性洗剤（濃度1～2%）をスプレーします。

- スプレー前にガラス面を完全に洗浄してください。  
（油膜が残っていると気泡発生の原因となります。）
- 車内の内装に水や洗剤がかからないよう、カバーしながら作業を行ってください。
- 点検シールは一旦剥がしてから、取り付け完了後丸型のフィルムアンテナの中に貼ってください。



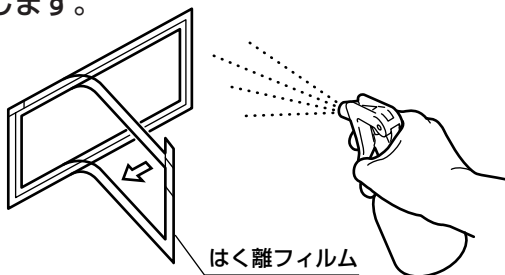
# 3 フィルムアンテナを仮止めして貼り付け位置を決めます。

- システムを正常に作動させるため図のようにフィルムアンテナのパターンとフロントガラスのセラミックラインを合わせてください。
- アンテナを正常に作動させるため、アンテナどうしの間隔は30mm以上あけてください。
- 30mmの間隔がとれない場合や視界の妨げになる場合にはFM-VICS用フィルムアンテナを取り付けしないで、運転席正面の視界を確保してください。



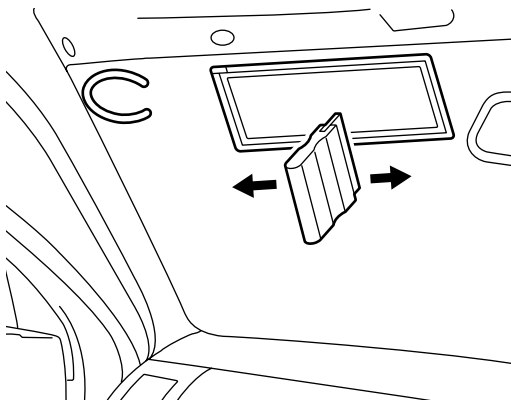
## 4 フィルムアンテナのセパレーターを剥がし、薄めた中性洗剤（濃度1~2%）をスプレーします。

- フィルムアンテナのセパレーターを剥がし薄めた中性洗剤をスプレーしてください。



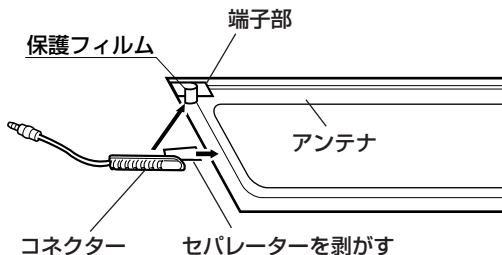
## 5 フロントガラスにフィルムアンテナを貼り付けます。

- 貼り付け作業を開始する前に、貼り付け位置を十分確認してください。フィルム本体は貼り付け後乾燥すると剥がすことが困難となります。
- 貼り付け時はスキージを使用し、フィルムアンテナとガラスの間に気泡が残らないように注意してください。但し、貼り付け後しばらくたってから、稀に気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は、数日で消えます。
- 水分は、貼り付け後に柔らかい布で拭き取ってください。（強く拭き取るとフィルム位置がずれるため、注意してください。）



## 6 フィルムアンテナの端子部にコネクタを貼り付けます。

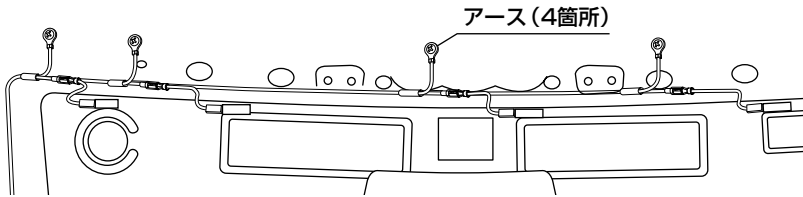
- フィルムアンテナの密着面が小さいため、十分乾燥させてから取り付けます。急ぐ場合にはドライヤーの使用をお勧めします。また、一度剥がしたコネクタは、再使用できませんのでご注意ください。



# 7

## アースをとり、入力コードとコネクタを接続します。

- 前6項で取り付けけたコネクタが届くことを確認したうえで、アンプユニットに接続してある入力コード先端の丸端子をサンバイザー、サンバイザーアシストのネジに締めます。(4カ所)
- コネクタが届く範囲でアースがとれない場合には、車体にφ3.0mmの穴をあけアースしてください。この場合車体外板に穴をあけないよう注意してください。
- 丸端子のついたアースコードは延長せずに取り付けください。**延長した場合、著しく性能が低下する恐れがあります。**
- FM-VICSは4枚のフィルムアンテナのうち大型の2枚が受信します。識別のため必要に応じてVICSタグを入力コードに取り付けます。

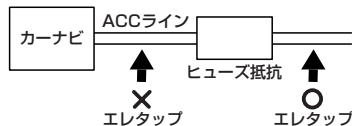
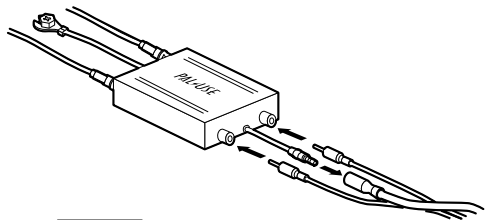


共通

# 8

## アンプユニットのアース端子を車体にボディーアースしたうえで出力コード、電源コードを接続し、アンプユニットを邪魔にならない場所に固定します。

- 電源コードはテレビチューナーの配線等より分岐しているACC (アクセサリ電源端子)に接続してください。
- 分岐しているACC端子がない場合にはエレタップを利用して電源をとってください。
- アースがとれていることをテスター等で確認してください。



(ヒューズ抵抗付のカーナビからエレタップで取り出す場合)

### エレタップの接続方法

使用しません。



1.電源コードのギボシ端子を切断します。

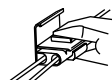
ナビゲーションシステムの電源コード (ACC・赤)



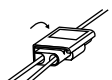
2.エレタップにナビゲーションシステムの電源コード (赤) を差し込みます。



3.エレタップ側面のカバーを閉じ、切断した電源コードを差し込みます。



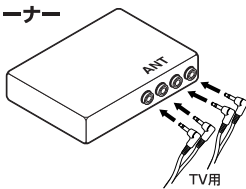
4.エレタップ上部の金具をペンチ等で押し込み、2本のコードを固定します。



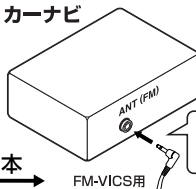
5.エレタップ上部のカバーをパチンというまで押し込みます。

# 9 4ch分の出力ケーブルをテレビチューナーに、VICSアンテナ用1chをカーナビ本体またはFM多重レシーバーのFM-VICS入力端子に接続します。

テレビチューナー



カーナビ



1本

カーナビの端子が合わない場合は変換ケーブルが必要です。

- TV4本のうち1本をFM-VICS用として利用できます。
- TVフィルムアンテナが確実に動作しているかTV側に電源を入れている状態で、下記の内容を確認し、異常のある場合は、取付け手順に従い確認を行ってください。

NO.	確認内容
1	アンプユニットのACCを抜き差しして画像にアンプの効果が現れるか(例:白黒画像がカラー画像に変化)
2	TVに接続されているアンテナコードを1本ずつ挿入し、アンテナがつながっているか画像確認

# 10 コード類を布テープ等で車体板金に固定します。

# 11 内装部品を元通りに取り付けます。

## 仕様

### FLA-101G

受信チャンネル  
出カインピーダンス  
ケーブルの長さ  
フィルム寸法  
質量

VHF(1~12ch)/UHF(13~62ch)/FM-VICS対応  
75Ω×4  
アンプ入力側:0.5m/アンプ出力側:6m  
84mm×340mm(2)  
約340g(片側・ケーブル含)

### FLA-102G

受信チャンネル  
出カインピーダンス  
ケーブルの長さ  
フィルム寸法  
質量

VHF(1~12ch)/UHF(13~62ch)/FM-VICS対応  
75Ω×4  
アンプ入力側:3m/アンプ出力側:3.5m  
89mm×330mm(2)  
約340g(片側・ケーブル含)

### FLA-103G

受信チャンネル  
出カインピーダンス  
ケーブルの長さ  
フィルム寸法  
質量

VHF(1~12ch)/UHF(13~62ch)/FM-VICS対応  
75Ω×4  
アンプ入力側:3m/アンプ出力側:3m  
95mm×95mm(1)75mm×165mm(1)110mm×235mm(2)  
約340g(片側・ケーブル含)

## 受信について

受信環境(トンネル内、ビルの谷間、テレビ塔付近)によっては、鮮明な画像が得られない場合があります。ラジオ、パーソナル無線、自動車電話などが近くにある場合は、それらのアンテナを十分離してください。断熱ガラスを使用した車及び熱線遮断フィルムを使用した車では、その一部に電波を通しにくいものがあり、受信できないことがあります。

## お手入れについて

汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞って拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。

## 保証期間について

この製品には保証書が添付されております。所定事項の記入及び記入内容をお確かめのうえ、大切に保管して下さい。

## 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## 保証期間内でも次の場合は、原則として有料とさせていただきます。

- イ) 誤った使用および不当な修理や改造による故障および損傷。
- ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、落下などによる故障および損傷。
- ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧)などによる故障および損傷。
- ニ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは、字句を書き替えられた場合。
- ホ) 本書のご提示がない場合。
- ※ 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- ※ 本書は日本国内においてのみ有効です。
- ※ 本書事項に従わない場合に生じた事故その他については当社は一切責任を負いかねます。

## アフターサービスについて

### 調子が悪いときは

この説明書をもう一度御覧になってお調べください。  
お買い上げ店、または当社にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証期間中に、正常な状態で故障が発生した場合には、当社保証規定に基づいて、無料で修理致します。お買い上げの販売店、または当社へご相談ください。尚、ご自身での取り付けに起因した故障および地域的な受信不良に関しましては、保証の適用外とさせていただきます。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が回復できる場合は、有料修理させていただきます。

ご質問ご相談は

## 原田工業株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井4丁目17番13号  
TEL 03-3765-4321(代)

■ ご自分で取り付けが困難な場合は、お買い上げ店または、カーディーラーにご相談ください。



発売元: HARADA INDUSTRY CO., LTD.

〒140-0013 東京都品川区南大井4丁目17番13号  
TEL 03-3765-4321 (代)

〈お問い合わせ時間〉

9:00~12:00 13:00~17:00 (土日、祝日を除く)

<http://www.harada.co.jp/denpa/index.html>